

道路用

プライマー

塗料と下地との接着性に優れたプライマーシリーズです。

プライマーは、主に道路用塗料を塗布するときに使用する接着材で、塗膜の剥離防止に重要な役割を果たしています。
プライマーは下地を樹脂で覆うことによりなじみをよくして、接着力を強くさせます。

■特 長

1. 道路用塗料と下地との接着性に優れています。
2. 乾燥性に優れています。
3. ロール塗装・機械塗装・スポンジ塗装等で施工が可能です。

■塗布量

塗布量	g/m
15cm巾	15～30

※コンクリート路面の場合、吸い込み等により変わる場合があります。
※ハードカラーM、FCMのコンクリート面の用途を除く。

■プライマーの種類

舗装の種類や用途に応じて5種類があります。

項 目	品 名	プライマーNo.1	水性プライマーNo.11	プライマーNo.3	プライマーNo.9	#800TYプライマー
用 途		アスファルト用・溶融材既設塗膜	アスファルト用・既設塗膜	アスファルト・コンクリート 既設塗膜・ハードカラーM、FCM用 アトムハードカラー水性エポタフの 溶融材面塗り替え用	レインフラッシュラインHV(リブのみ)用 アトムハードカラーEM速乾の 既設アスファルト面用・塗り替え用 アトムハードカラー水性エポタフの 既設アスファルト用	コンクリート用
使用形態		一液	一液	一液	一液	二液
塗布(塗装方法)		ローラー・機械・スポンジ	ローラー・機械(AP-2W)・スポンジ	ローラー・スポンジ	ローラー・機械・スポンジ	ローラー・機械・スポンジ
洗浄材		合成シンナーNo.2	水	合成シンナーNo.2	合成シンナーNo.2	合成シンナーNo.6
容量・荷姿		 15kg	 15kg	 15kg	 14kg	 12kg(主剤6kg・硬化剤6kg)
消防法		第四類第一石油類 危険等級Ⅱ・火気厳禁	非危険物	第四類第一石油類 危険等級Ⅱ・火気厳禁	第四類第一石油類 危険等級Ⅱ・火気厳禁	主剤：第四類第一石油類 危険等級Ⅱ・火気厳禁 硬化剤：第四類第一石油類 危険等級Ⅱ・火気厳禁

■プライマー施工上の注意事項

1. 塗布面の掃除は充分に行ってください。

道路上には塵埃、水分、油分等が付着しており、掃除が不十分な場合には、接着不良の原因になります。

2. 規定の幅より広く塗ってください。

プライマーを塗布するときは、必ず上塗り塗装幅より10～20mmくらい広く塗ってください。狭すぎると塗膜の側端からの剥離の原因になります。

3. プライマー塗布後は、車両、歩行者等に踏まれないように養生してください。

4. プライマーは適正量を塗布してください。

プライマーの塗布量が適正でないと、剥離、クラック、ピンホール等の原因になります。塗布量が少ない場合は、剥離、クラックの発生原因になり、また、塗布量が多すぎる場合は、ピンホール等の発生原因になります。

5. 均一な膜厚になるように塗ってください。

プライマーの塗布むらが、ラインの剥離の原因になりますので、均一な膜厚になるように塗布してください。また、路面の凹凸が多い所は、プライマーを路面の凹部まで確実に塗布してください。

6. 下地を完全に乾かしてからプライマーを塗布してください。

下地が濡れている場合には、プライマーが下地に接着せず、剥離の原因になります。

7. 開缶後は速やかに使い切ってください。

開缶後は溶剤揮発・酸化等により接着性・作業性が低下していきます。

8. 別の種類のプライマーとは混合しないでください。

9. プライマー塗装機等の洗浄には、専用の洗浄材を使用してください。

■取扱上の注意事項

吸入すると中毒をおこすおそれがありますから、取扱いには下記の注意事項を守ってください。

1. 取扱い作業場所には局所排気装置を設けてください。

2. 容器から出し入れするときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、砂等を散布したのち処理してください。

3. 取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし必要に応じ、有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、保護手袋、前掛け等を着用してください。

4. 取扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行ってください。

5. 作業衣等に付着した場合は、その汚れをよく落としてください。

6. 一定の場所を定めて貯蔵してください。

7. 溶剤系プライマーは引火性の高い溶剤を使用していますので御注意ください。

■全般的注意

(1) 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS（安全データシート）・施工仕様書をよくお読みください。

(2) 改良等のため、①製品の中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。

(3) 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。

(4) 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明の点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

